

伊豆大島

概況(平成 15 年 7 月)

火山活動は、落ち着いた状態が続きました。

地震活動は、落ち着いた状態が続きました。地殻変動の観測では、火山活動によると見られる顕著な変化はありませんでした。噴煙は、観測されませんでした。

地震活動の状況

地震回数は、1日当たり0～2回で、落ち着いた状態が続きました(表1、図1～2)。火山性微動は、観測されませんでした。

表1 火山性地震日別回数表(伊豆大島)

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日		旬計	
	2	0	1	0	2	0	1	1	2	0		9	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日		旬計	
	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0		5	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	旬計	月計
	0	0	1	1	0	0	0	1	2	1	0	6	20

短期・日別 地震活動推移 (最近2年間の火山性地震の日別回数)

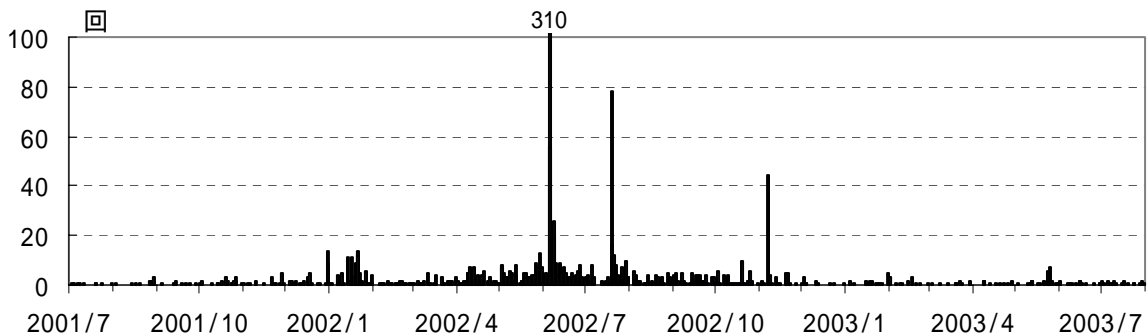


図1 伊豆大島 火山性地震日別回数(2001年7月1日～2003年7月31日)

長期・月別 地震活動推移 (1961年1月以降の火山性地震の月別回数)

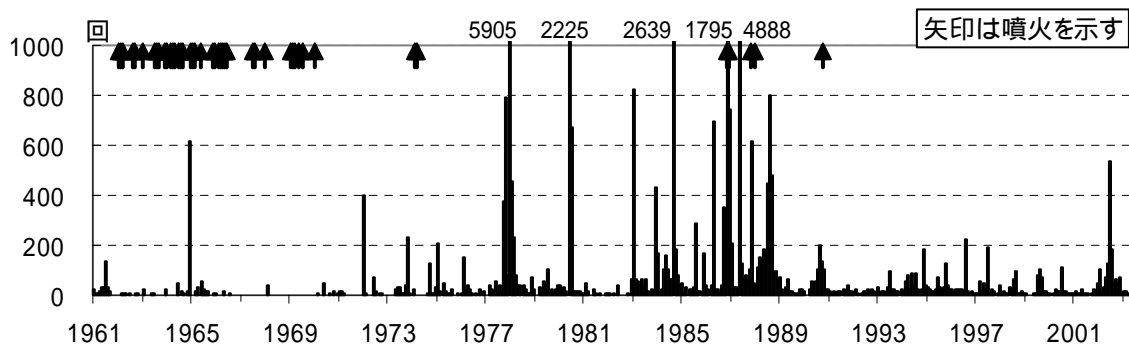


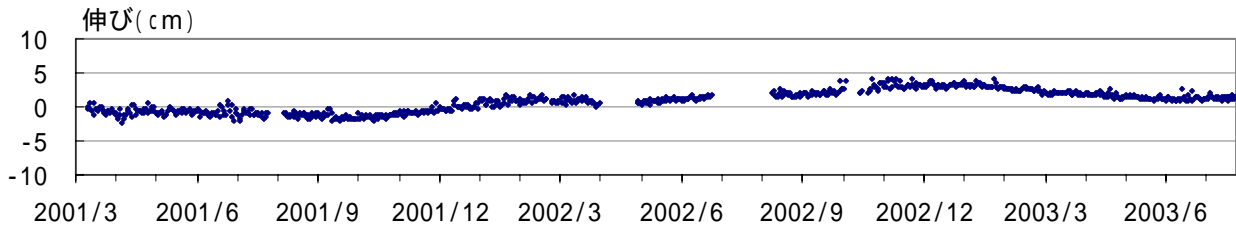
図2 伊豆大島 火山性地震月別回数(1961年1月～2003年7月)

噴煙活動の状況

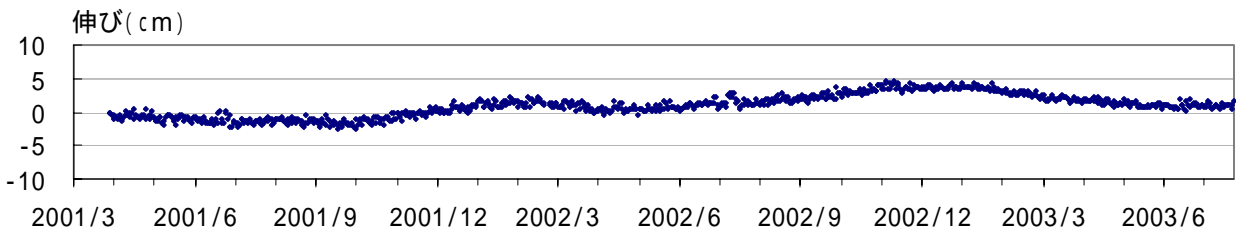
遠望カメラによる観測では、噴煙は観測されませんでした。

地殻変動の状況

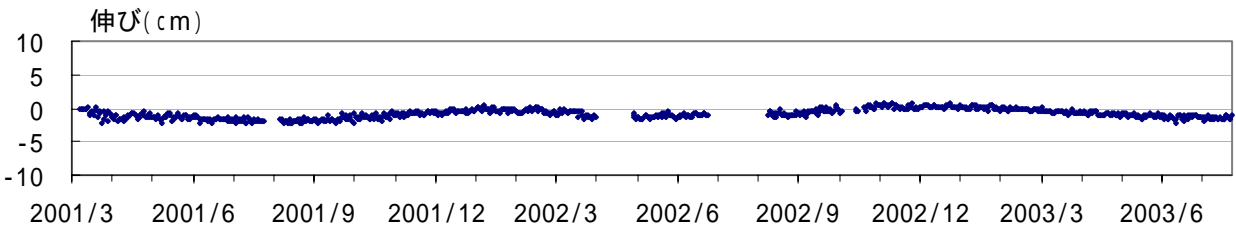
今期間(2003年7月)はGPS及び光波距離計に火山活動によると見られる変化はありませんでした(図3- ~)。なお、GPS観測を開始した2001年3月からの長期的な変化を見ると、火口を挟む方向の2つの基線長(大島北西外輪 - 差木地奥山・差木地奥山 - 津倍付)が伸びを示しています。光波距離計(南北方向)の観測では、長期的な伸長傾向は2000年以降停滞しています(図4、5)。GPSの大島北西外輪 - 津倍付基線長(光波距離と同じ南北方向)でも、変化はありませんでした(図3 -)。



大島北西外輪 - 差木地奥山 基線長変化 (観測点間の距離 4,733m)



差木地奥山 - 津倍付 基線長変化 (観測点間の距離 7,037m)



大島北西外輪 - 津倍付 基線長変化 (観測点間の距離 3,218m)

図3 伊豆大島 GPS観測結果(2001年3月7日~2003年7月31日)

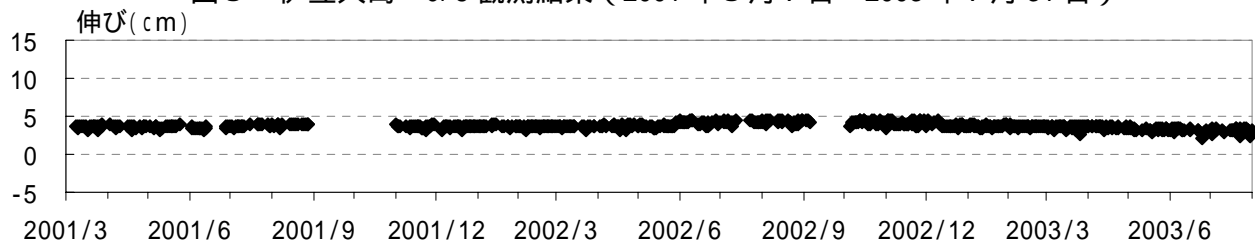


図4 伊豆大島 光波距離計 斜距離変化日平均値(2001年3月1日~2003年7月31日)
津倍付 - 神達 (観測点間の距離 1,902m)

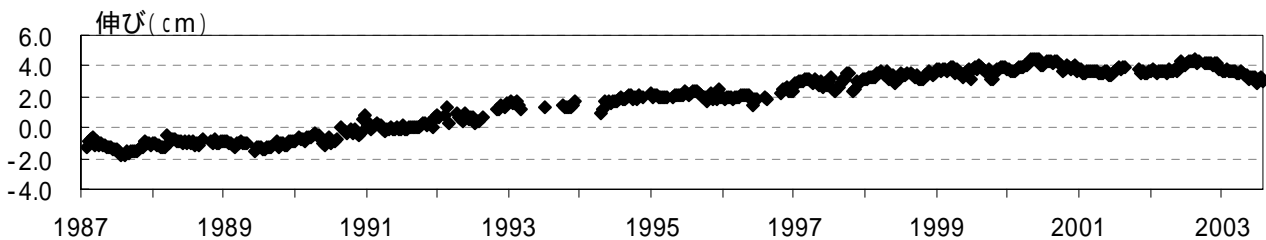


図5 伊豆大島 光波距離計 斜距離変化月平均値(1987年~2003年7月)
津倍付 - 神達 (観測点間の距離 1,902m)

